

「人づくり×まちづくり」未来へつなげる地域の交流拠点
～世代を超えたつながりの中で、学びあい、育ちあえる場所～

(1) 基本計画の目的

飯能第一小学校敷地内での飯能第一小学校、放課後児童クラブ、飯能中央地区行政センターの建替えおよび複合化による施設整備を行うにあたり、地域住民や施設関係者等で構成される協議会や検討会議の意見を踏まえ、基本構想を具体化するとともに、整備方針として新たに追加すべき項目を整理し、今後の設計に反映することを目的とします。

(2) 施設規模の設定

〈小学校〉

- ・今後の児童推計や1クラスの定員の変更を考慮して、普通教室は1学年3クラスを基準に予備教室（多目的室）を計画し、将来4学年が4クラスに対応できる計画とします。
- ・特別支援学級は、今後も増加が見込まれるため、6クラスに対応できる計画とします。

〈児童クラブ〉

- ・クラブ室は児童1人当たり1.65㎡以上の基準に適合し、1室50名対応、計4室200名まで対応可能とします。
- ・クラブ室2・3を隣接して配置し、今後の利用児童増加に対応できるように、分割し40人を3室、計5室220名まで対応可能とします。

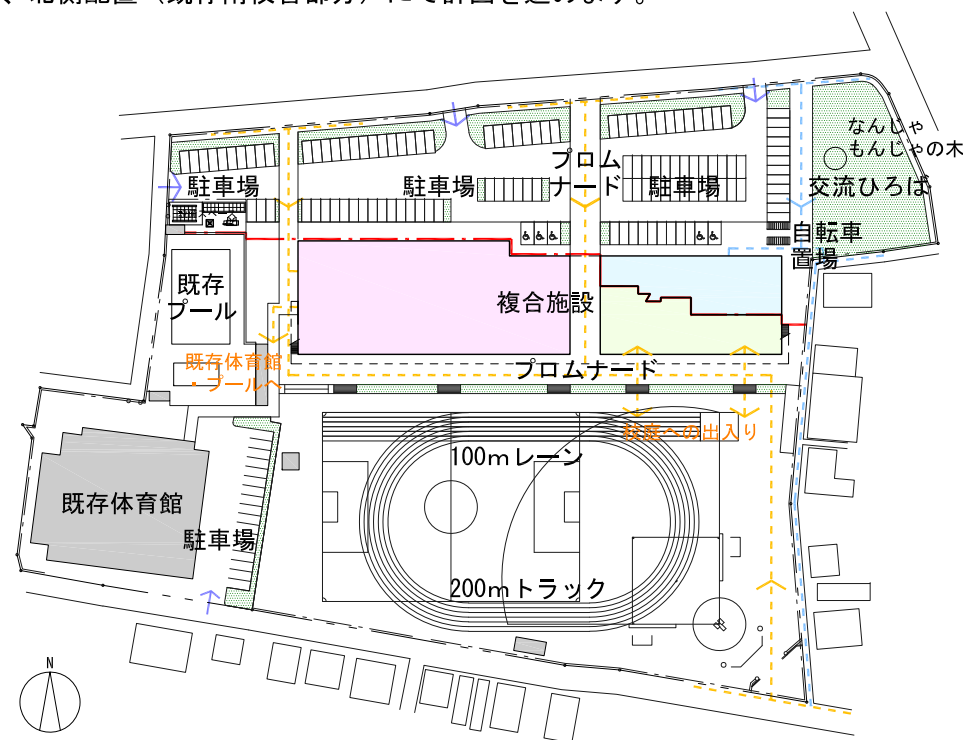
〈地区行政センター〉

- ・貸室は、既存飯能中央地区行政センター各室の利用状況を集計の上、適切な室を計画します。

(3) 配置計画について

施設の配置は北側配置、南側配置、西側配置の比較検討を行い、校舎や校庭への陽当たりや周辺環境との調和、駐車場の出入り等により、北側配置（既存南校舎部分）にて計画を進めます。

- ・敷地の有効活用を考慮して施設は3階建てに集約して、北側に駐車場スペース、南側に既存同様にゆとりある校庭を計画します。
- ・校庭は200mトラックと100mレーンが確保できる広さを確保します。
- ・各施設は、主に西側に小学校を配置し、東側は校庭に面して児童クラブ、北側駐車場に面して地区行政センターを配置します。
- ・北側道路の歩道を拡幅するとともに、緑地帯とはしらベンチを設置し地域コミュニティ活動を促進します。
- ・北東の突出部は交流ひろばとして、緑地帯を連続させ、憩いや活動の場とします。
- ・北側道路から建物前面まで緑地帯と活動スペースを組み合わせたプロムナードを整備し、地域コミュニティを引き込む計画とします。



- : 小学校
- : 児童クラブ
- : 行政センター
- : 共用部
- : 新施設
- : 仮設校舎
- : 解体建物
- ▼ : 主要な出入口
- - - : 児童動線
- - - : センター利用者動線
- - - : 車両
- - - : セキュリティライン

(4) 平面計画

〈小学校〉

- ・既存同等面積の教室、教室前にロッカースペースを計画し、多様な活動に対応できる計画とします。
- ・予備教室を多目的室として利用し、少人数学習や多目的ホール等に活用できる計画とします。

〈児童クラブ〉

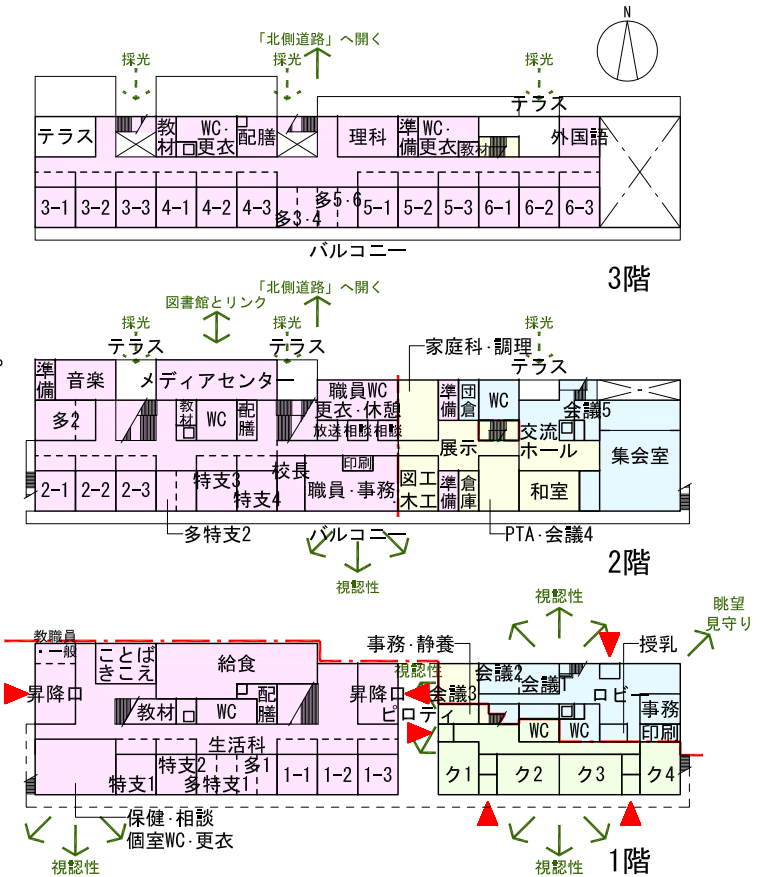
- ・施設出入口をピロティ側に、クラブ室出入口を校庭側に設置し、校庭に円滑に出入りできる計画とします。

〈地区行政センター〉

- ・各会議室は、多用途に活用できるように移動間仕切りや内装材、設備を計画します。

〈共用部〉

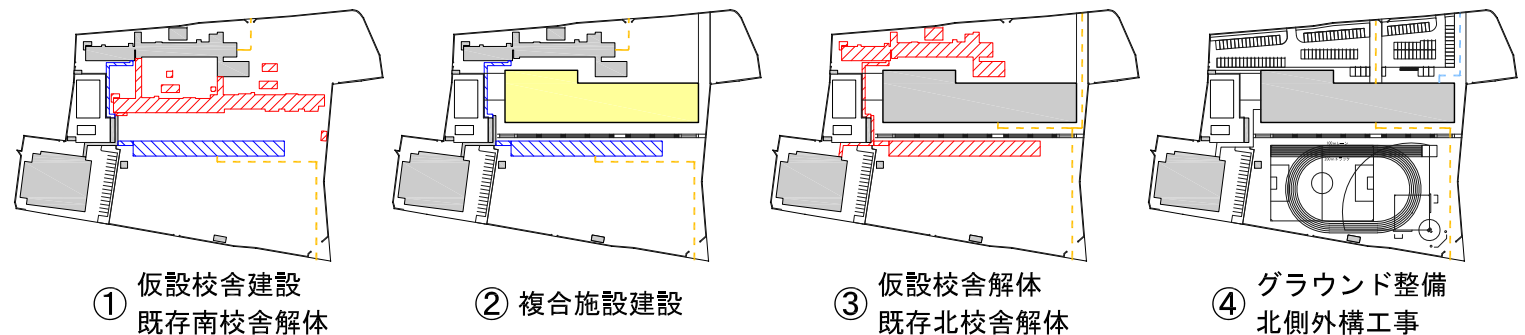
- ・複合化のメリットとして、図工室と木工室、家庭科室と調理室、PTA室と会議室4、和室、交流ホール、展示スペースを共用する計画とします。
- ・小学校、児童クラブに合わせて上足とします。
- ・日常的な管理は地区行政センターが行い、利用予約も既存の地区行政センターの予約システムを活用します。授業等は一斉予約で確保します。



(5) 事業スケジュール（案）

年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
発注							
設計	基本計画	基本設計	実施設計				
調査		地盤調査・敷地測量					
申請			仮設許可	確認・条例			
工事			① 仮設校舎建設	南校舎解体	② 複合施設建設	北校舎解体	③ 仮設校舎解体 北側外構
運用				● 小学校南校舎引越し	● 小学校、児童クラブ移転		● 行政センター移転
						④ 校庭整備	

(6) 建替ステップ図



※今後、基本設計や実施設計において、地域住民や施設関係者等の意見や詳細な検討、諸官庁協議等により変更となる可能性があります。